

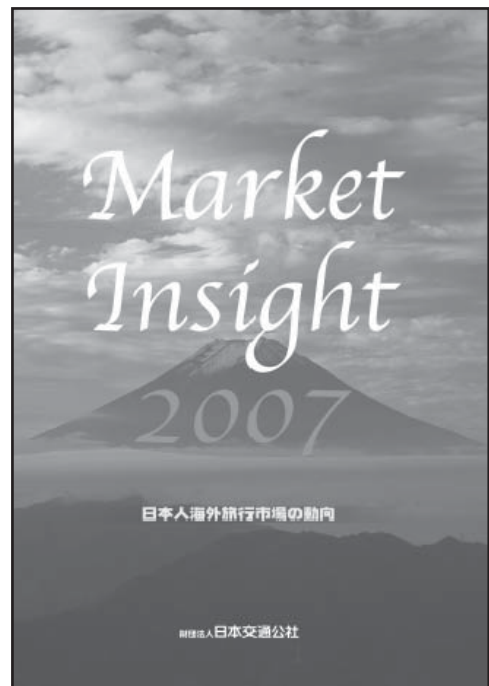
Market Insight 2007

日本人海外旅行市場の動向

2006年の最新市場動向と、日本人海外旅行マーケットの構造的な変化とその要因を詳細に解説したレポート。当財団の独自調査をもとに、変化の下に働く中長期的ダイナミズムを明らかにしている。

2005年に続き低成長に終わった2006年の海外旅行者数。その背景にあるのは市場の成熟化である。海外旅行市場では、90年代後半以降、旅行経験が豊かで毎年海外に行く旅行者が増加する一方、若年層など、市場の将来的な成長力となる低経験者の比率が下がり続けてきた。2006年、市場全体としての成熟化傾向は一服した形となったが、休暇・観光目的の旅行者に限ってみると依然として成熟化傾向に歯止めがかからない状態となっている。本レポートでは市場の成熟化の状況を数量的に捉え解説している。

- 担当者 黒須宏志 相澤美穂子
- 定 価 10,500 円 (本体 10,000 円)



A4判 75 ページ
※英語版も制作

目 次

はじめに

要 約

第1章 2006年の日本人海外旅行マーケット動向

2006年の海外旅行マーケット／休暇・観光目的のマーケット／性・年代別旅行者数／旅行とライフイベント、ほか

第2章 エリア別のマーケット動向

ヨーロッパ／北東アジア／東南アジア／北米／オセアニア／ハワイ、グアム、およびその他のデスティネーション

第3章 マーケット規模の将来予測

07/08年のマーケット規模／中長期的見通し

第4章 マーケット動向指標

市場規模／出国率／方面別マーケット／旅費／旅行泊数／予約方法／情報源／宿泊施設／旅行タイプ／月別出国者シェア／同行者／満足度、再訪希望率／希望する旅行

附属資料